

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 住民の不安に寄り添う原発行政を</p>	<p>一昨年(2019年)の12月26日に営業運転を再開した女川原発2号機ですが、機器等の不具合がプレスリリースされています。その中で疑問を抱いた点、また、中部電力浜岡原発での耐震データ不正にかかわった業者が女川原発のデータを作成していました。</p> <p>このことについて伺います。</p> <p>(1) 5月26日及び6月20日に不具合が確認された水素濃度検出器の案件について詳細を伺います。</p> <p>(2) 10月22日の定期試験中に手動での動作が不能になった制御棒について原因及び対策等を伺います。</p> <p>(3) 1月5日に中部電力で耐震設計に関わる基準地震動を作成する際、データを意図的に数値が低くなるよう操作していた問題があったことを公表しました。この地質調査を委託されていた業者のうち、2社が女川原発に関わる地質調査の委託先にもなっています。規制委員会に対して事業者に基準地震動の算出に用いたデータを提出させ、関連団体ではなく第三者委員会等で安全性を総点検するよう要</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
	請すべきではありませんか。
	(質問の相手：町長、担当課長)